



震に嵌められた

エンプレス

本文29p

神聖歴108年

十年ぶりに姿を現した反乱軍は再びに盛り返してきた

王妃様！

帝国軍が次々と敗退して反乱軍がもはや王都を包囲するように囲い始めた…

女武神様！

女武神様必勝！

やもえずかつて帝国の女武神だった王妃様は再び戦場に赴いた。



しかも、この頃もう既に
我が軍の大將を三名
も討ち取りました…

構わん…
あれは全部彼女に
送り出した餌食だ

元帥様、
ご予想通りに
あのエンプレス
はやっぱり直々に
出陣しました！



俺の命令を伝えよう
全軍が魔域森の
北方面へ下がれ

承知！



エンプレスクレア…
今度こそお前を
逃せないぞ！

畜生！まんまとやられた！

卑怯な手段を
ばっかり使いやがる
悪党め…

気骨があるなら
私と正々堂々と
勝負しよう！

いいよ

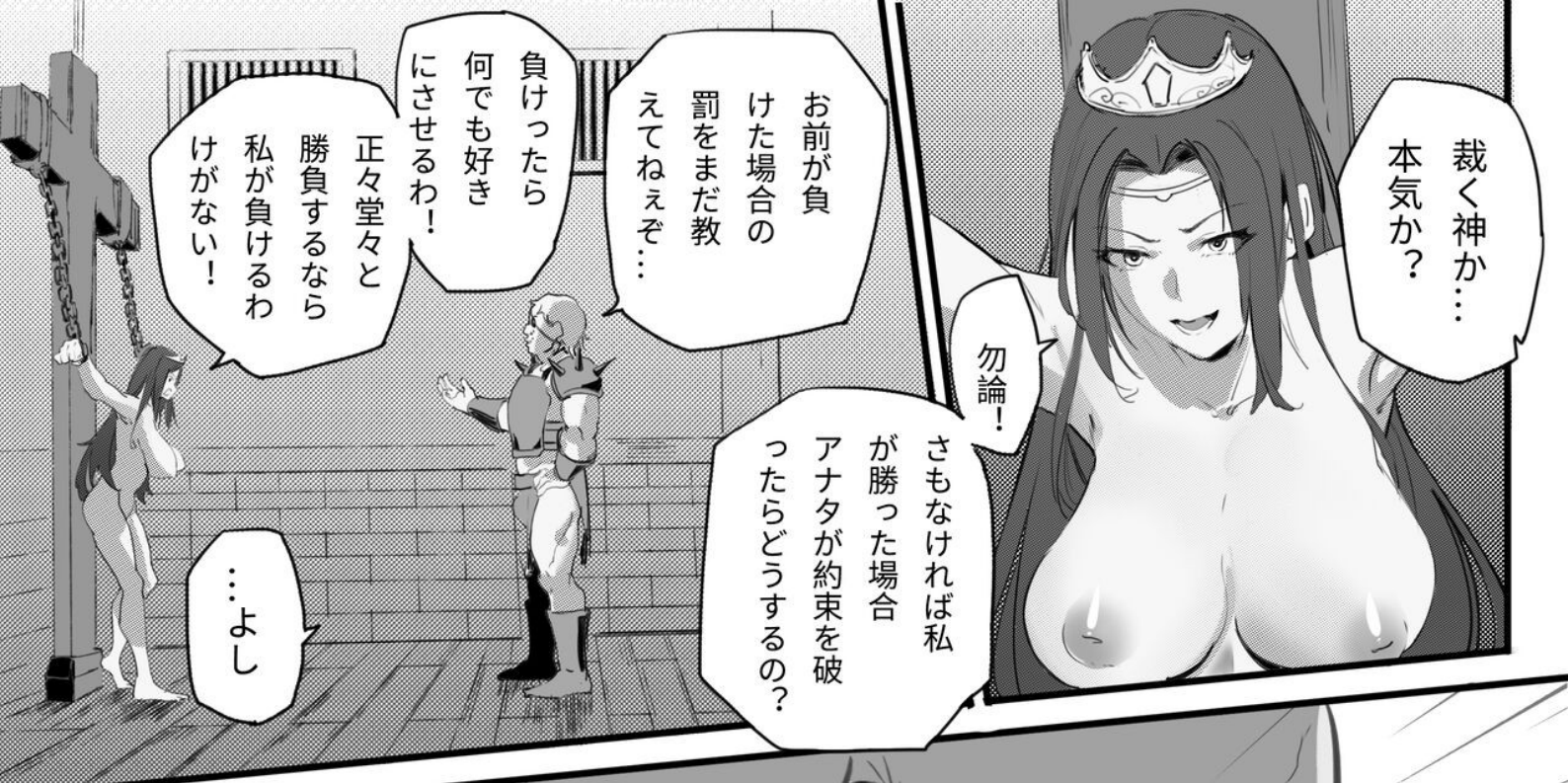
えっ？
本当か？

本当だしもお
前が勝ったら
逃がしてやるよ

ただし、この
勝負の内容は
俺が決める！

…わかった
何でもいいわ！

ただし、必ず裁く神と
契約を交わす！



裁く神か…
本気か？

勿論！

さもなければ私
が勝った場合
アナタが約束を破
ったらどうするの？

お前が負
けた場合の
罰をまだ教
えてねえぞ…

負けったら
何でも好き
にさせるわ！

正々堂々と
勝負するなら
私が負けるわ
けがない！

…よし



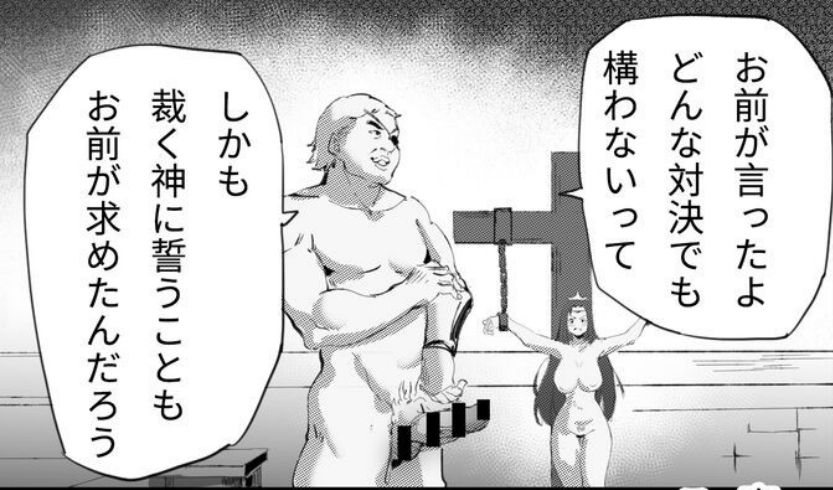
裁く神の名義を
もって…

俺、ルックがここで
エンプレスクレア
にセックスの勝負を挑む！

さらさら

先に絶頂に三回
達した人は
無条件で相手の
奴隷となる！

ちょっと…







早く出せ。。

そして私の
奴隷になれ!



深い!

肉棒が急に
大きくなった!



でもこの程度のフェラでは
俺を楽しませられないぞ!

ううん!



悪くない目付きだ…



更に激しく!

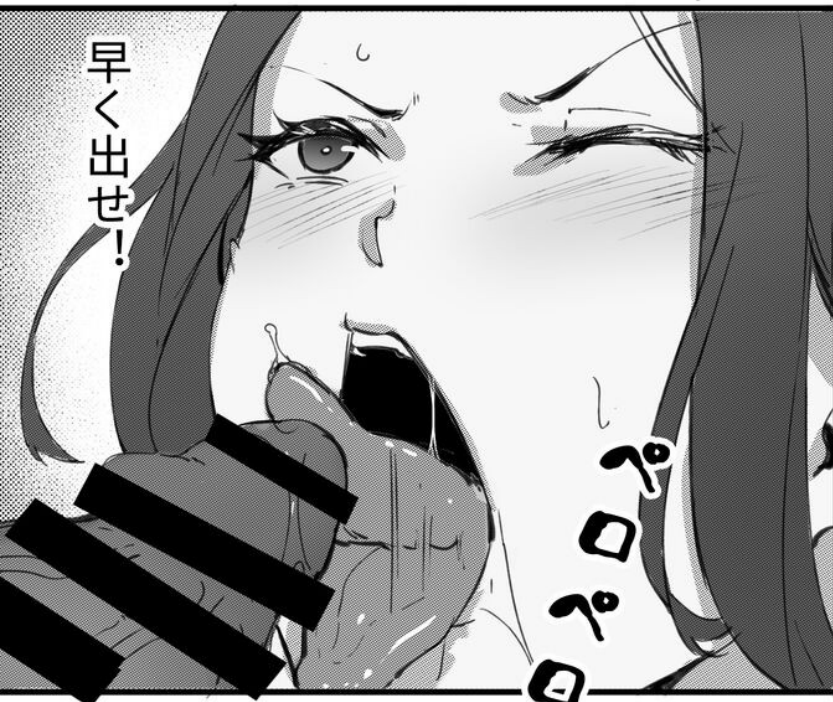


おおお...
お前の舌先を
俺の尿道口に
捻じ込むか!



なめ

そうだ...
これだ!



早く出せ!

ぽろぽろ

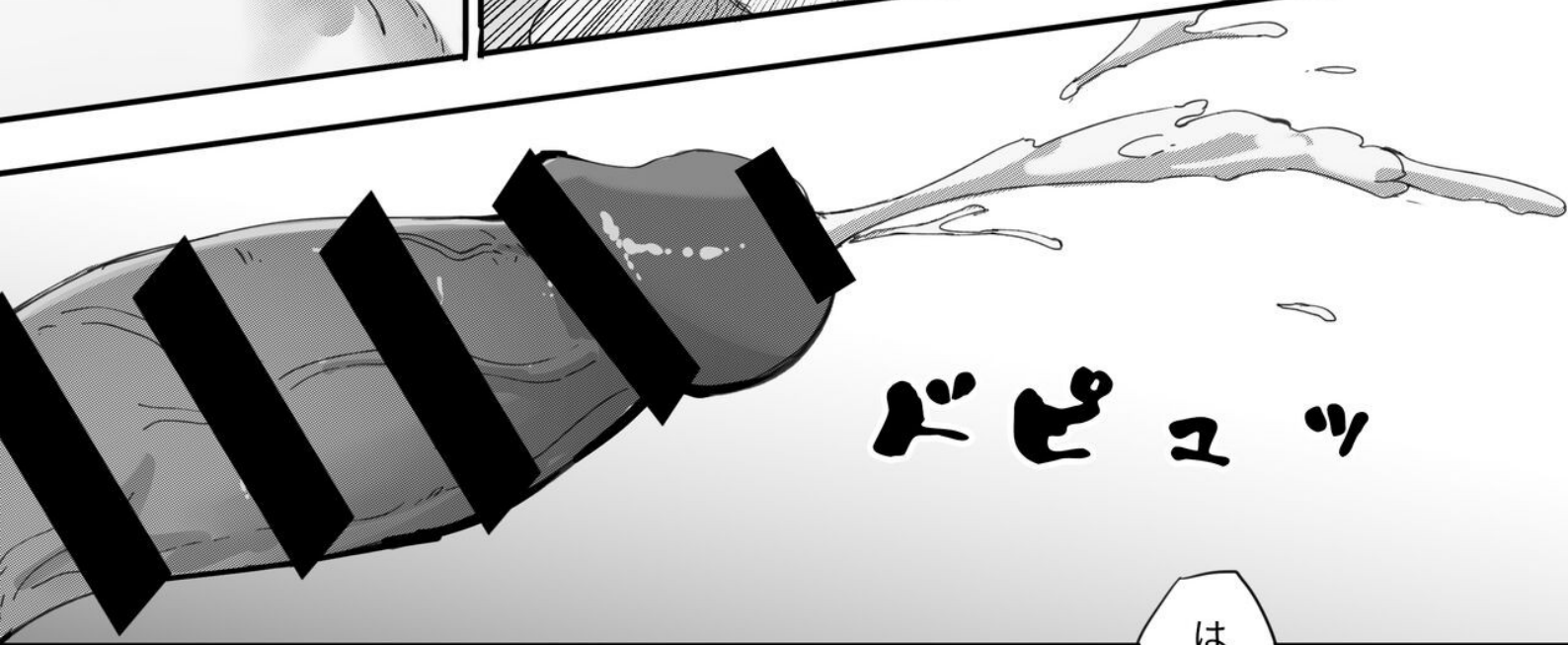


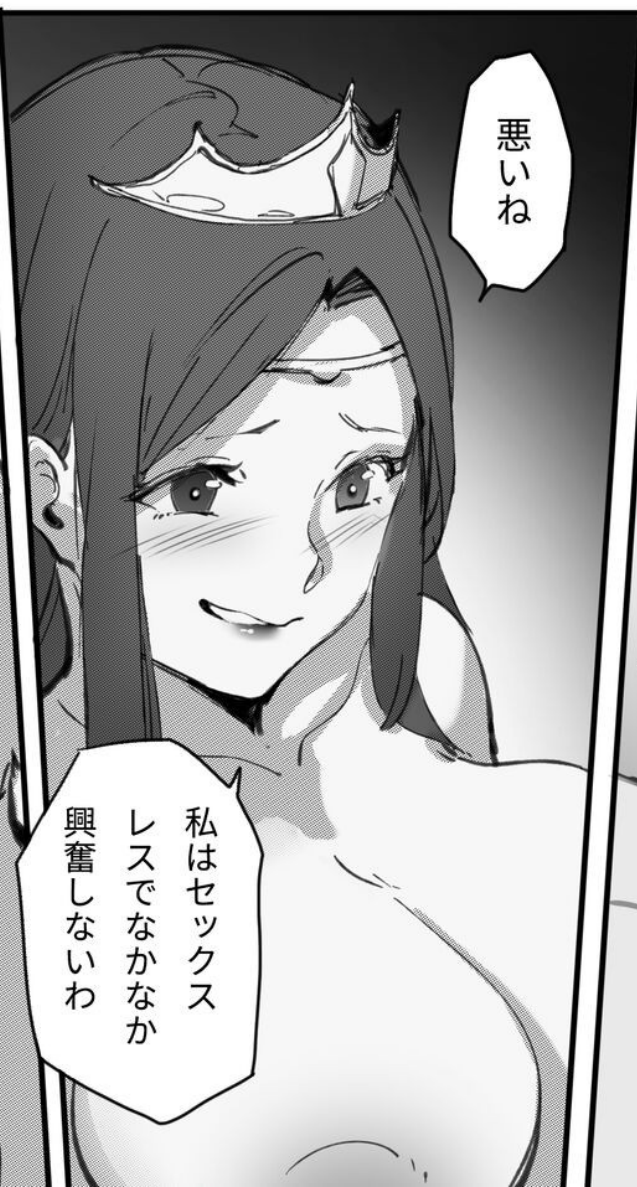
ザーメシ出せ!

早く出せ!



ちゅ
ちゅ
ちゅ

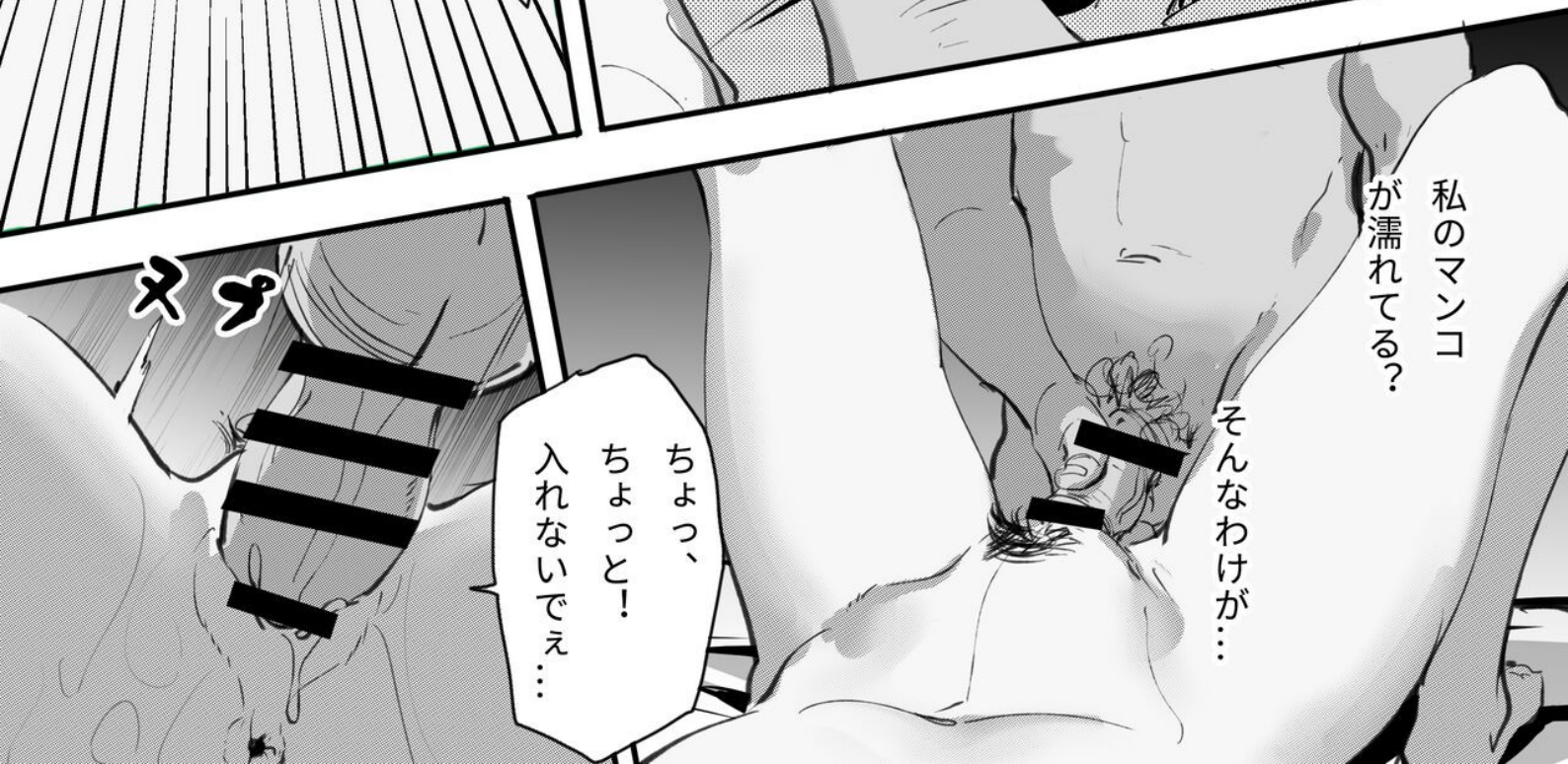






ここは随分と
濡れてるじゃないか？

馬鹿な？！

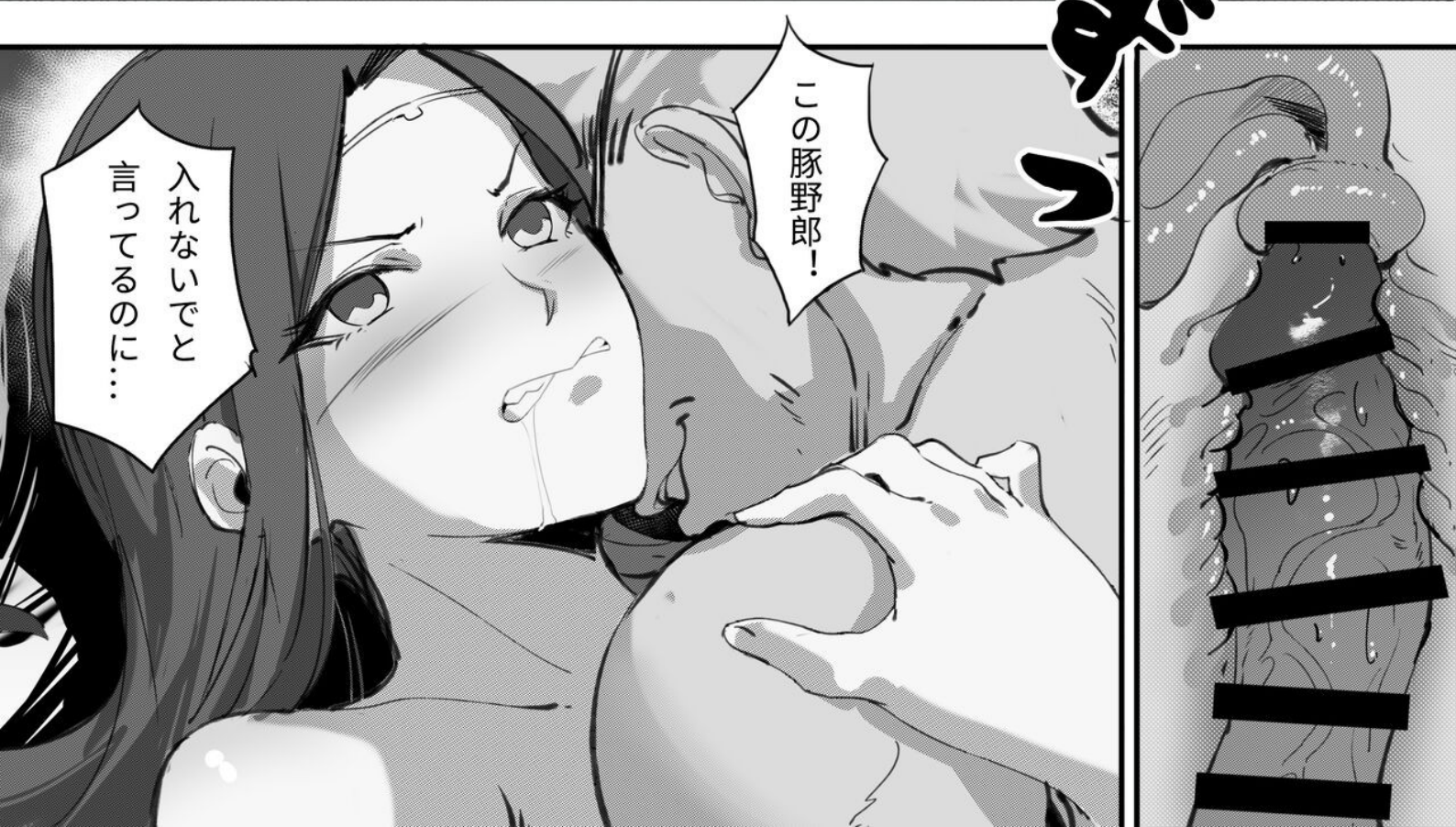


私のマンコ
が濡れてる？

そんなわけが…

ちよつ、
ちよつと！
入れないでえ…

メ
ザ



狭いね…
お前のマンコの
触感はバージン
と変わらないね

ばっ、バージ
ンなわけがない
私は陛下と結婚して
10年も経ったわよ、
それも知らないの？

あの皇帝もこ
のようにお前のマ
ンコを犯したか？

勿論知ってるよ
王妃様…

おうー俺はいま
王妃様のマン
コを犯してる
気持ちいい…！

ぐんぐん

うん？

この俺のように
力いっぱいでお
前を犯したか？

ああ…
肉棒が膣肉に引
っ掛かってる

ちゅ



あれっ？

キスってこんな感じなの

陛下とキスする時に

一回もなかった体験だ…

体が熱い…

このままじゃ駄目

こいつを止めなきゃ…



ああああああ

ああああ

ペペペ



さっきのが
絶頂か？

魂が空に

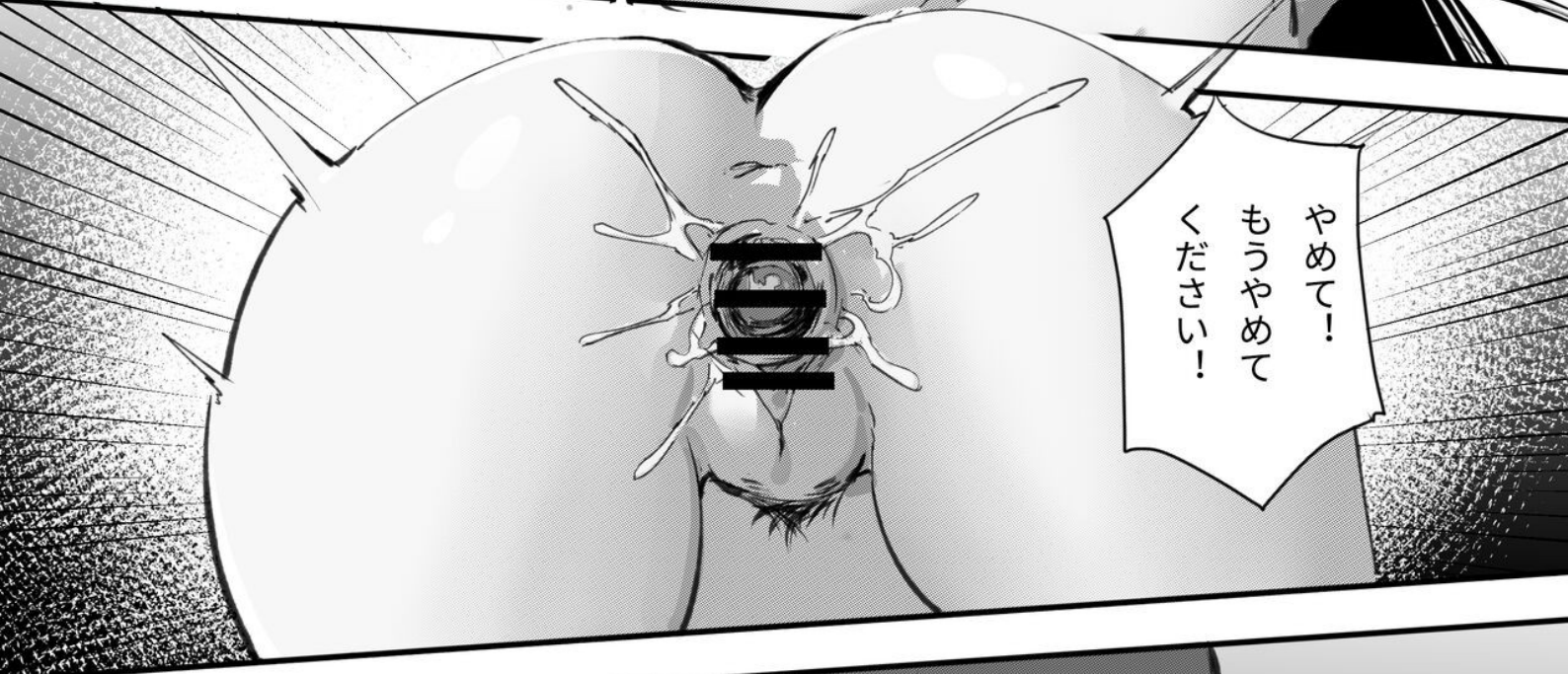
飛んだような感じだ

まだ休ませないぞ
クレア…

俺は勝ちに
乗じて追撃す
るところだよ！

あゝ

そんなんっ？



何でこんなことに

私は武神の血筋を
継ぐ者なのに…

陛下とやる時に

何の感覚も

なかったのに…

陛下以外の人に

ドキドキしたこ

とがないのに…

何故よりによつて

この豚野郎に…

おおお…
俺もいったよ!

ダダニ



そうだ

決勝戦の前に
お前に一つ教
えておこう



スコアは
2対2となった!



公平を期すために
今回のセックス勝負
においてクレアに
女性器を付けようと...

そもそも
俺が勝った場合...
その女性器は
永遠に残す

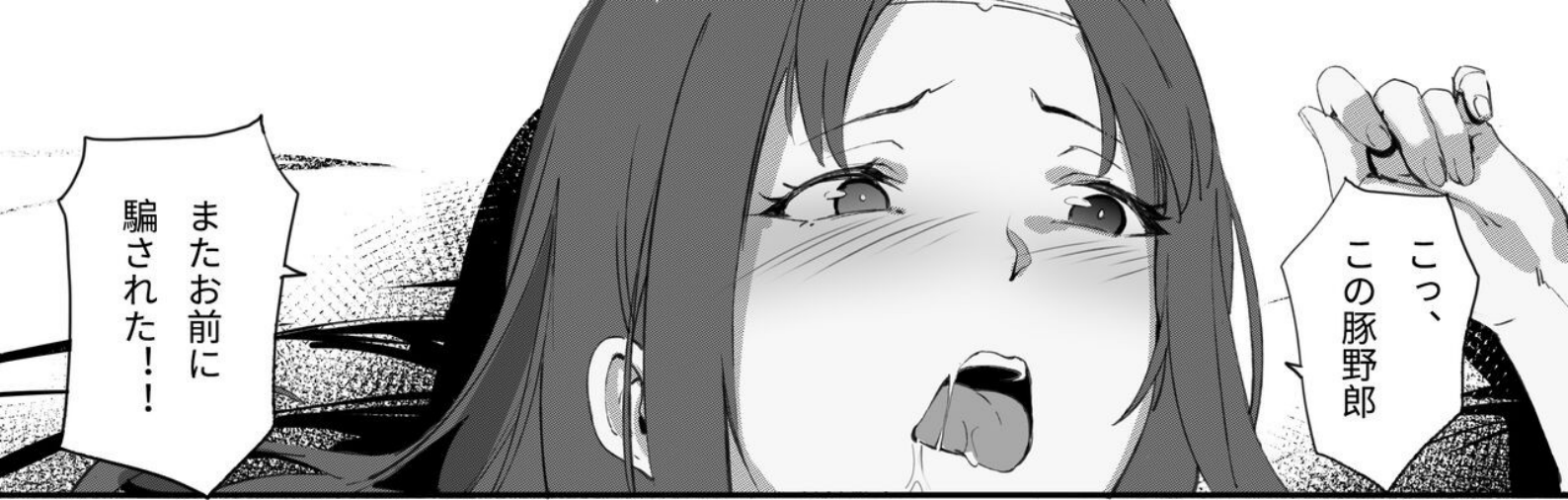
どうだ...
決めたか

決めた...
受けて立つ!



武神の血筋が
性欲を感じないことは
俺がとっくに知ってたよ

だから、裁く神と
契約を交わす時に
俺はこっそりと
一条を入れたんだ



またお前に
騙された!!

こっ、
この豚野郎



騙されたのか?
そう考えなくても
良いじゃないか
:

今のお前の
この体を見よう...

今回をきっかけにして
今までにない快楽を
覚えたんじゃないか?



俺のメス犬になれよ
これから毎日
このようにお前
を満足させる!



今度こそ
お前を先に行
かせるわよ!



駄目だ!



こいつに振り
回され続けて
たまるものか



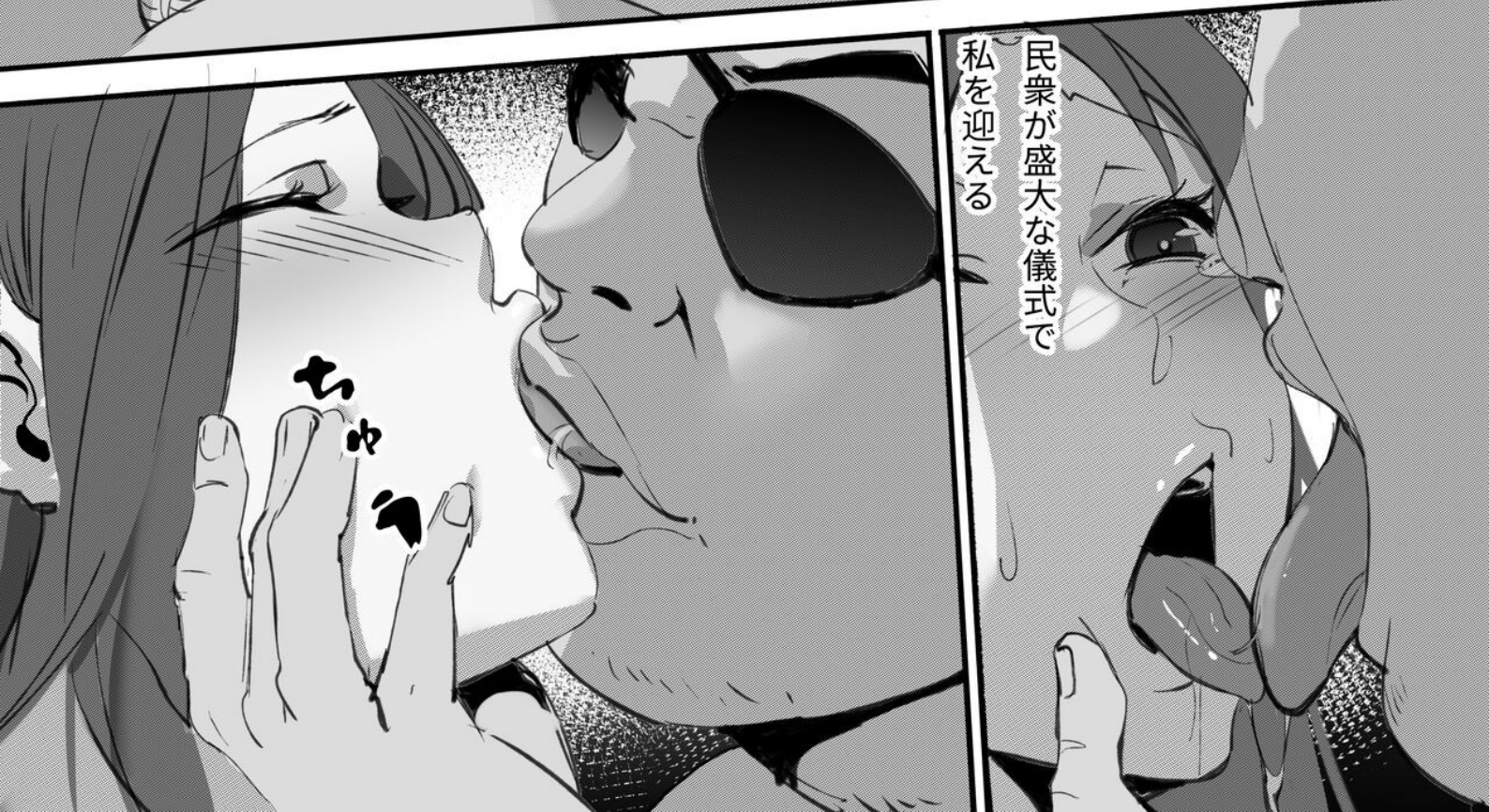
ど
め
ろ
ろ



さっさと降伏
しなさい!

お前が先に出したら
勝つのが私

ぬぽ



民衆が盛大な儀式で
私を迎える

ちゅ

陛下が私に褒賞を与える

私は再びに
帝国の誇りとなる

セックス何ぞ…
何でもないわ

全てが終わった後
全部忘れるから

忘れよ

忘れよ

パパ
パパ
パパ

これで全てが
終わった

危なかつた...
私だって
限界まできてたわ

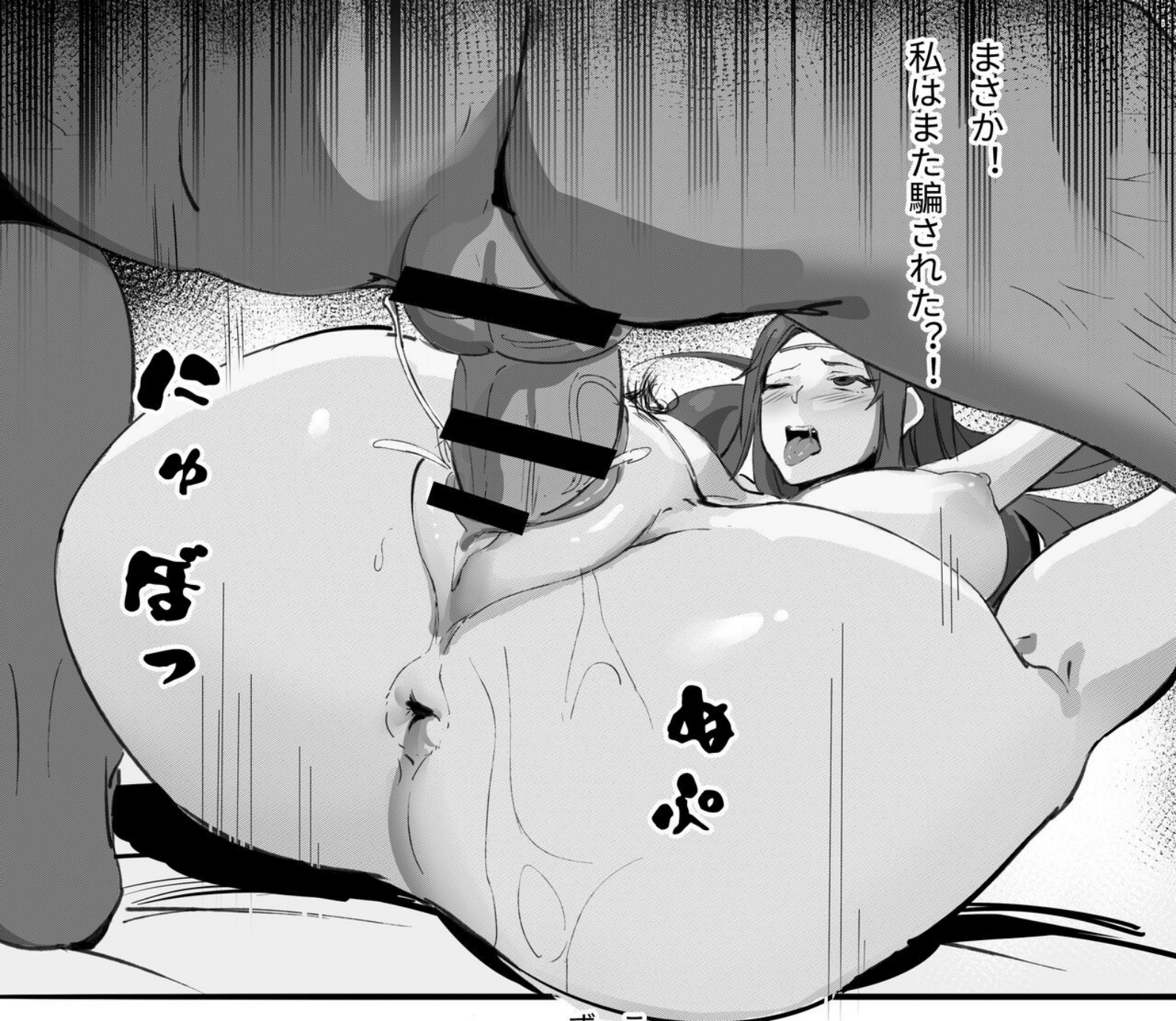
冗談だよ！

俺はまた出
していいえぜ！

ざん

ッ

ニヤニヤ



まさか!
私はまた騙された?!

にゅぽっ

あふ



ごめん...
みんな...



こいつは実に...
ずるい

はっ...はっ...



ごめん
陛下…

帝国の責任も…
エンプレスの尊厳…

続けられ
なくなった…





ポ
ポ
ン

イク
...
!

私はこの悪党の
専属メス犬になるから!

